

子ども安全の日「防犯パトロール隊員さんありがとう」 地域の子どもは地域で守ろう！



11.21 シュプレヒコールする防犯パトロール隊員の皆さん

防犯部会(会長 高橋孝明)は11月21日の「子供安全の日」の早朝、子どもを登校に合わせ二斉防犯パトロールを行った後、八本松小学校グラウンドで子ども見守り活動のセレモニーを実施した。このセレモニーは平

成17年に起きた「木下あいらさん」事件をきっかけに結成されたもの。その趣旨を皆で再確認し日頃の見守り活動継続の力を得るために毎年行われている。今まで八本松小学校区では大きな事件や事故に遭う子どもたちもおらずこの活動の力は大きい。

この日集まった70名の防犯パトロール隊の皆さんは犠牲になった子どもたちと黙とうをささげた後、八本松おやじの会の堤会長の音頭のもと「地域の子どもは地域で守ろう、子供を巻き込む犯罪は許さないぞ」のスローガンを全員で唱えセレモニーを終了した。

冒頭の挨拶で高木小学校校長は「隊員の皆様のためまの活動に感謝します。また、子どもたちにも目「防衛の力を培ってゆきます」と述べた。



11.21 見守り活動(交差点徐行等設置区域)



11.21 見守り活動(歩行レーン設置区域)

また、ある防犯パトロール隊員の方は、「別の地域で活動されている隊員の方と互いに意思疎通ができ継続する勇気が湧いてきた」と語られた。

子どもたちの交通安全を求めて 2地域で道路カラー舗装

通学路に歩行レーン設置 カラー舗装

八本松東方面からの通学路 2月工事予定

このほど、八本松東方面から小中学校への通学路に児童生徒の安全通行を確保するため歩行レーン(カフー舗装)を設けることとなった。

この通学路は幅員が狭く歩道もない状態で、利用する約二百名の児童生徒の安全は保護者や地域の方の切望が強い。市通学路安全検討委員会へ要望してきた。

その結果、昨年までに側溝の蓋掛け工事が完了、今年7月中旬に道路南側の二部を歩行レーンとしてカラー舗装する工事が行われる。設置を要望した下組の車両が急な下り坂を降りた地点にある無信号交差点で、幼稚園・小中学校の通学や一般の通勤等の要所となっている。特に徐行や一時停止をしない車両が多く見られ、毎年交通事故が発生しており見守り活動で子どもたち

の安全を確保している。そのため、八本松中央自治会は昨年7月の交差点の下り坂進入路に徐行を促すカフー舗装とその先にある中央幼稚園入り口の横断歩道の線引きを東広島市維持課に要望し1月7日に工事が完了した。この対応で少しでもドライバーマナーが改善されることを望む。

西自治会等は、この歩行レーン使用に当たっては留意事項を遵守していただくとともに、これまで同様児童・生徒の安全に目配りしていただくよう地域住民の方に呼びかけている。

カラー舗装歩行レーン使用の留意点

- 1 歩行者は必ずカラー舗装内を通勤・通学・往来歩行すること
- 2 自転車走行時カラー舗装内で歩行者と出会えば、前後を確認し歩行レーン外に出ること
- 3 カラー舗装内は歩行者を最優先し、歩行者がいない場合は自転車・車両も歩行レーンを使用できる

11.21 見守り活動(歩行レーン設置区域)



交差点徐行警告カラー舗装



子どもたちに自己防衛の力を

八本松西集会所 地域安全マップ作り

自治協防犯部会は12月4日八本松西集会所で小学校児童による「地域安全マップ作り」を行った。当日はあいにくの雨であったが32名の子どもたちが集まり(大人を入れて72名)自分たちが住んでいる地域の危険な



ちる危険性のある側溝や通行注意が必要な道路等の危険な場所が発表される他、調査した地域に「子ども110番の家」がない等指摘す

箇所を調査し、大型のマップに写真や説明文で調査内容を記入し、八本松西集会所地域(大山ハイツ、松風ハイツ、八本松駅の北周辺)の安全マップを作成した。



調査結果を発表する子どもたち

意見を出した。子どもたちの発表を聞いた大山ハイツの西本自治会長は対応を検討したいと述べた。また、参加した子どもたちは「実際に調査して危険な箇所をきちんと学ぶことができました」と述べた。

「寒いなか 今日も見回り ありがとう」第5回 夜の見回り

防犯部会は12月3日(土)午後7時地域センターに約20名の有志が集結し今年度5回目の学校区内パトロールを行った。寒さのためか公園や広場には人影もなく、24時間営業の商店にも単身の子どもたちは見受けられなかった。

見回り結果の報告後、恵下田副部会長は「この一年間何事もなかったのは皆様のおかげです。来年もよろしくお願いします」と挨拶し終了した。なお、今年度は2月に今年度最後のパトロールを実施する予定。



24時間営業店舗の調査に向かう隊員

「良く響く 元気な声で 火の用心」八本松みなみ自主防災会

八本松みなみ地区自主防災会(会長 横井國興)は12月23日から3日間恒例の夜の巡回パトロールを実施した。平成26年から実施し今回は3年目。年末の慌ただしさによる犯罪・事故・火災の発生を未然に防ぐため地域の有志による

防災・防犯活動。年々参加者は増加し今年度は3日間で延べ51名。保護者同伴で子どもたちも事業に参加。良く響く元気な声で「火の用心」と注意を喚起した。パトロール終了後、防火・防犯上の気付きや防犯灯の必要な場所等を報告し、今後の対応を検討した。

